

令和7年度静岡市桜の園地域連携推進会議 会議録

日 時	令和7年6月28日（土） 13時30分～14時30分
場 所	静岡市桜の園 相談室
参加者	構成員 入所施設利用者1名 利用者家族1名 内牧町内会代表者 2名 事務局 施設長 事務長 サービス管理責任者 主任生活支援員
内 容	1 あいさつ 2 出席者紹介 3 地域連携推進会議について 資料「地域連携推進会議の概要」を説明。 障害者支援施設は、事業運営が外部に見えづらいという課題がある。この会議を行うことにより、事業所と地域の連携により、利用者と地域の関係づくり、サービスの透明性・質の確保、地域の人への施設や利用者に関する理解の促進、利用者の権利擁護が期待されている。構成員の方には、この会議と施設訪問の2回の出席をお願いすることになる。次回の施設訪問の際のポイントについて、資料「地域連携推進員の手引き」をご一読いただくようお願いした。 4 桜の園の運営状況 桜の園の沿革、入居者の概要、令和6年度事業報告、令和7年度事業計画、経営状況、行事予定などについて説明。地域行事への参加状況や、ホームページとInstagramによる情報発信について紹介。 5 令和6年度利用者アンケートの結果 様々なご意見をいただいている中、「ナースコールにすぐに対応して欲しい。」という意見が多い。できる限り対応したいとは考えているが、人員も限られており、利用者には「急を要さない限り、順番に対応していくことになるので、ご理解いただきたい。」とお願いしている。 6 意見交換 ・桜の園の入居者の様子や運営状況を聞かせていただいて、改めて大変な仕事だなと感じた。経営状況が厳しいのがよくわかった。 ・町内会として行事も含めて、いろいろな面で協力していただいて非常に助かっている。これからも良い関係を続けていきたい。 ・入居者家族として、お任せしていることばかりで、たいへん助かっている。 ・職員の方々には、話をよく聞いてくださり、いろいろな面で支援してくれて感謝して

	いる。 ・町内会でいま、公民館の前にある防災用の井戸を使えるように要望を出している。桜の園さんもそうだと思うが、内牧町内としては防災対策が重要な課題であるので、これからも防災訓練などでよい協力関係を続けていきたいと思っている。 ・夜間、入居者の方の緊急時などは、どのような対応をしているのか。 (回答) まず夜間待機の看護師に電話連絡して、看護師が電話で利用者の状態を確認し、必要であれば出勤して対応（様子を見る、受診する、救急車を呼ぶ、など）を判断する。救急車を呼ぶ場合は、看護師が付添う。ご家族に連絡し、病院に直接来てもらうようにしている。 7 施設訪問について 施設訪問は、令和8年1月18日(日)に行う地域防災訓練の時に実施する予定である。詳細は、後日調整のうえ連絡をする。 8 その他 特になし。
備考	施設訪問を地域防災訓練と並行して行うのは困難と思われるため、日程の再考が必要。